

# 人魚の表象の領域横断的研究 神話からグローバル社会まで

2024年12月14日(土)

沖縄県立芸術大学 当蔵キャンパス 一般教育棟 3F 大講義室

開場 9:30 開演 10:00 入場無料

混淆的存在である人魚(セイレーン・マーメイド)は、人間と動物、海と陸など様々な境界の指標です。

沖縄を含め世界各地に遍在する人魚的存在の図像や概念を音楽・美術・フォークロアや文学などの様々な領域からのアプローチによって比較し、またジェンダーや自然環境の問題なども含めた視点から考察する国際研究会を開催します。

人魚伝説のモデルとなったジュゴンが、アメリカ軍新基地建設反対のシンボルともなっている沖縄の地で、文化の接触によって起こる移住・借用・再領有・融合について人魚を通して考えたいと思います。

10:00 開会の辞

美術工芸学部長 花城美弥子

10:05-11:30 (仏語 逐次通訳付き)

ジャクリヌ・ルクレール＝マルクス

(西洋中世美術史／ブリュッセル自由大学名誉教授)

「セイレーンの概念とイメージ—地中海から北海まで」

11:30-12:10 (日本語)

ルーシー・フレイザー

(御伽話研究、日本と英語圏の文学とポップカルチャー／クイーンズランド大学上級講師)

「オーストラリアの人魚」

午前の部

基調講演

プログラム

午後の部

報告

13:30-14:00

岩瀬ひさみ (民話研究／日本ケルト学会)

「アイルランド・スコットランドのアザラシ人と人魚」

14:00-14:30

徳田和夫 (説話・伝承学／学習院女子大学名誉教授)

「予言する異類／フォークテール《人魚と津波》」

14:30-15:00

吉川秀樹 (人類学／琉球大学・沖縄県立芸術大学非常勤講師・環境 NGO)

「沖縄のジュゴンの現れる場所—海から裁判所、子供の本まで」

15:10-15:40

尾形希和子 (西洋美術史／沖縄県立芸術大学教授)

「セイレーンとワイルドマンの表象」

15:40-16:10

向後恵里子 (日本近代美術史／明星大学教授)

「日本の人魚—海の彼方の／私としての」

16:20-17:20

ディスカッション



<https://x.gd/vcmaC>



参加とオンデマンド配信の申し込みはこちらのQRコードから

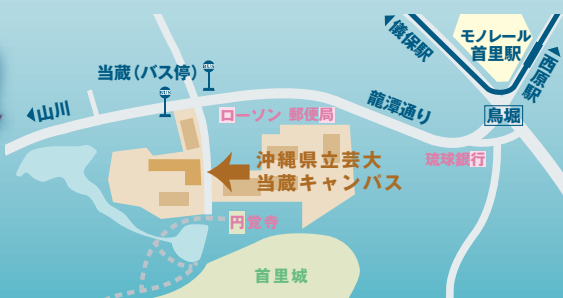


お問い合わせ先：芸術学専攻学科室

✉ [geijutsu@okigei.ac.jp](mailto:geijutsu@okigei.ac.jp)

☎ 098-882-5070

本企画は JSPS 科研費 22K00149 と R6 年沖縄県立芸術大学教育研究支援資金の助成を受けています。



☎ 903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町 1-4

■自動車利用の場合

那覇空港より9.8km、約45分

沖縄自動車道・那覇ICから、約10分

■モノレール利用の場合

那覇空港駅より首里駅まで約35分、

首里駅より徒歩約10分

■バス利用の場合

「当蔵(とうのくら)」バス停下車、徒歩1分